



青森からお届けします！



2年連続の豪雪の冬も終わり、1.5m程も
あった雪もようやく消え、4月を迎えようとしています。
今季も雪の重さによる枝折れや裂傷、脱落した木を
目にし、りんごの木を守りきれなかったことへの残念さと
反省の思いです。
それでもりんごの木は常に前へ前へと成長し続け、膨らん
でいくりんごの蕾の姿から、私達は希望や元気をもらっています。
私達もりんごに学びながら、共に成長していきたいと思っております。

雪解けと動物たちのあと

雪がなくなってみると、ネズミが雪に埋もれていた枝の皮をかじったあとが見えたり、折れた枝の中から蜜蜂が越冬している姿が見えたりと、いろいろな発見があります。
(蜜蜂の越冬は自分も初めて見ました)
冬の間も、いろいろな動物たちと一緒にこの園地があったんだなと感じました。

りんごを作っていると、動物や虫はどうしても「益虫」「害虫」という言葉で分けてしまうことがあります。自分の知らないところで生きるために必死に過ごしていた跡を見ると、共存の難しさを改めて考えさせられます。
佐藤



岩木山麓の園地にて

3月から岩木山の麓の園地へ派遣剪定に行っています。今年雪が多く残っていて、その中で目立つのが枝折れです。雪の重みに耐えきれず折れた枝があちこちに転がっていて、被害の大きさを感じます。岩木山の麓の地域では、今年には特に枝折れが多いそうです。

収穫量も減ると予想されるため、それを少しでも補えるように考えながら剪定をしています。残った枝には頑張って美味しいりんごをたくさん実らせてほしい、そんな気持ちで一本一本ハサミを入れています。 對馬



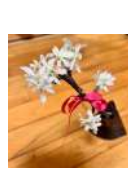
皆様からいただいたりんごの花ギャラリー



愛知県Kさま



兵庫県Oさま



Sさま

太枝切りハサミ活躍中

剪定作業を終えた後の枝集めを中心に
行っています。
今年も太い枝が多く、作業量は
なかなかのものですが、そんな時に
頼りになるのが太枝切りハサミです。

使い始めた頃は、なかなか
思うように力が入らず苦勞しましたが、
やはり道具は慣れが大切ですね。
今ではコツもつかみ、太い枝も気持
ちよくスパッと切れるようになりました。

作業がはかどると同時に、ちょっと
した達成感も
味わえます。

今年も良いシーズンになるよう、
一つひとつの
作業を丁寧に
進めていきたいと思います。

奈良岡



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : http://ooyufarm.com